

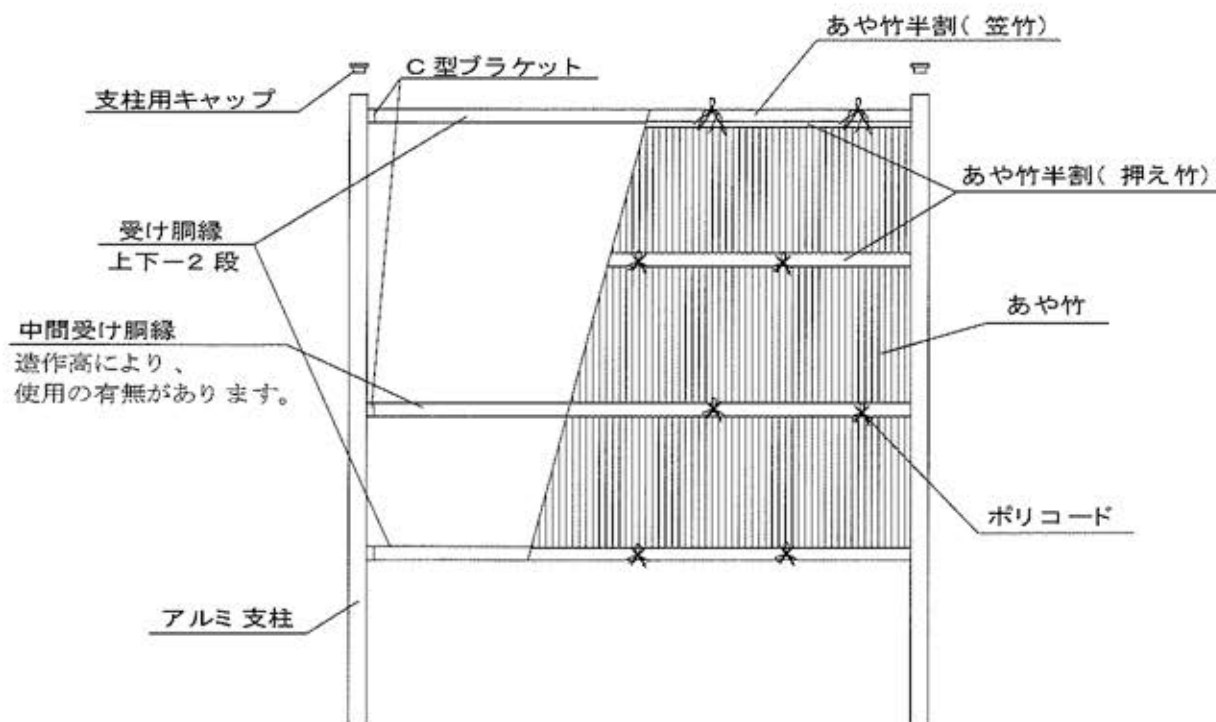
竹のあるくらし
タケヒロ産業

人工竹垣シリーズ

組立説明書
縦みす垣
柱見せタイプ

このたびは、弊社の人工竹垣フェンスをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本書には、製品を安全にご使用いただくための注意事項が記載されております。製品を施工される前に、必ず本書の「設置上のご注意」、「施工上のご注意」、「組立説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

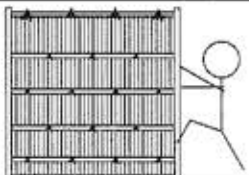
□部材構成及び各部名称



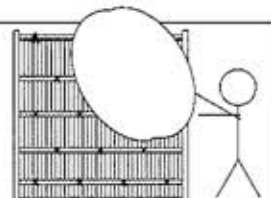
□使用上のご注意 フェンスは、隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すりとしては使用しないでください。

⚠ 注意

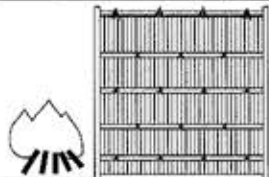
ケガをする恐れがありますので、揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。



重みで変形することがありますので、雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。



樹脂製品は、熱変形温度が低く、引火の可能性もありますので、近くでたき火等をしてしないでください。



ネジやボルトなどは、勝手にゆるめたり外したりしないでください。また、加工・改造したりしないでください。



お問い合わせは
株式会社 タケヒロ産業

〒444-0104 愛知県額田郡幸田町坂崎東鳴沢15-1
タケヒロホームページ <http://www.takehiro.co.jp>
メールアドレス takehiro@takehiro.co.jp

TEL (0564) 63-1212 (代)

FAX (0564) 63-0832

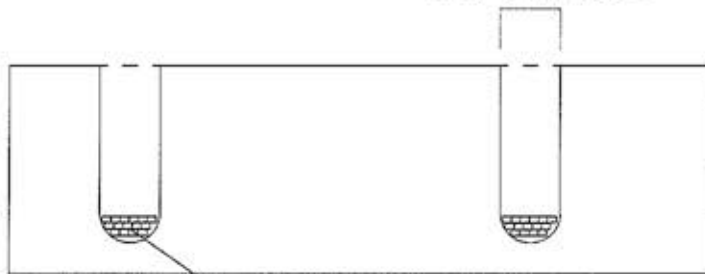
Step
1

基礎の準備

埋め込み式 施工

550mm程度

200mm以上



下がり止め

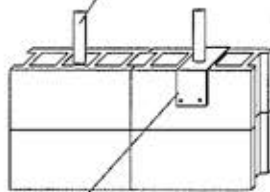
※その他の施行方法

コンクリート上で施工
ベースプレートを使用



ベースプレート
(アンカーボルトで固定)

ブロック上で施工
インナーパイプを使用
インナーパイプ



ブロック用ベースプレート
(貫通ボルトで固定)

① 同封の部材明細と
梱包内容をご確認ください。

(納品後、一定時間を経過
してから、不足品が出ても
保証できかねる場合があり
ますので、最初に必ずご確認
ください。)

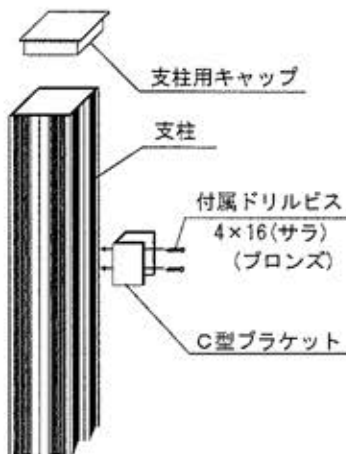
② 支柱の埋め込み位置を
算出し、基礎穴を掘ります。

(※地下埋設物を傷つけない
ようにご注意ください。)

③ 支柱の下がりを防ぐ
ため、穴底には、石や
ブロックなど硬く平らな
ものを敷いてください。

Step
2

C型ブラケットの取り付け



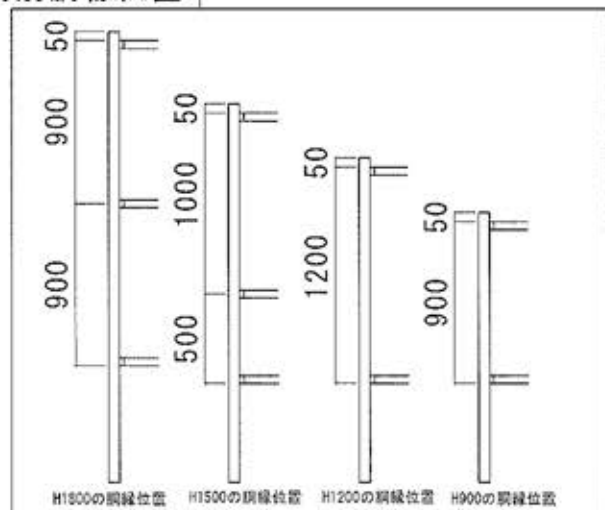
※注意

丸柱の場合は、柱のセンターに
ガイドラインを引き、センターを
明確にして、C型ブラケットの
縦位置のブレを防いでください。

① 支柱上部に支柱用
キャップを取り付けます。

② 下図（造作別胴縁位置）
を参考に、C型ブラケットを
付属のビス（ブラケットの
袋に同梱しています。）で、
取り付けます。

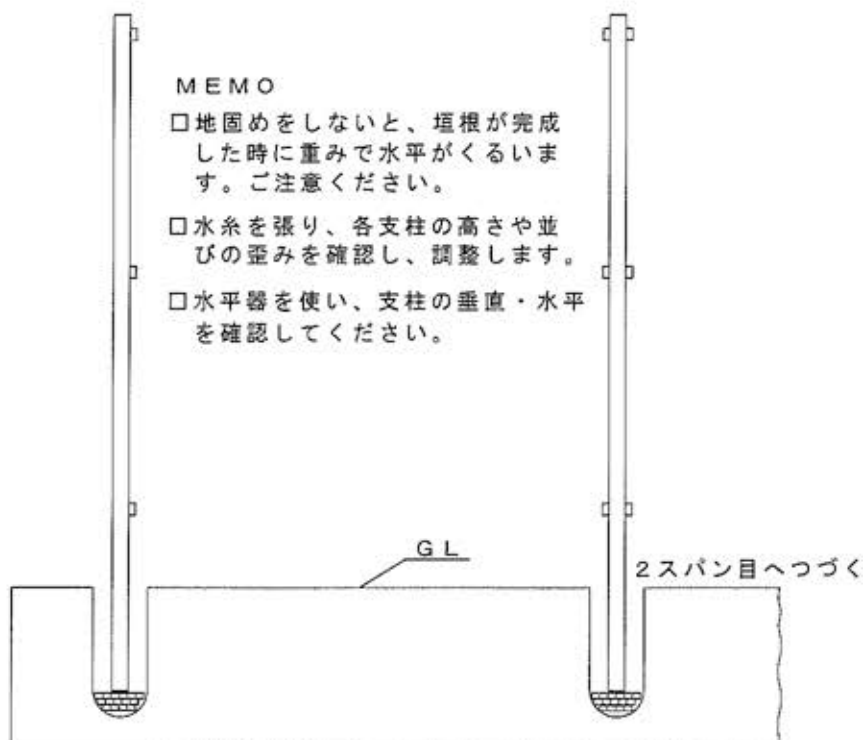
造作高別胴縁位置



H1800の胴縁位置 H1500の胴縁位置 H1200の胴縁位置 H900の胴縁位置

Step
3

支柱埋め込み



①支柱を基礎穴に差し込み、高さと同じ、垂直と水平を確認し、コンクリート等を流し込み固定します。支柱について余計なコンクリート等は完全に拭き取って下さい。硬化してしまうと、拭き取った時に製品の表面を傷めますので、ご注意下さい。

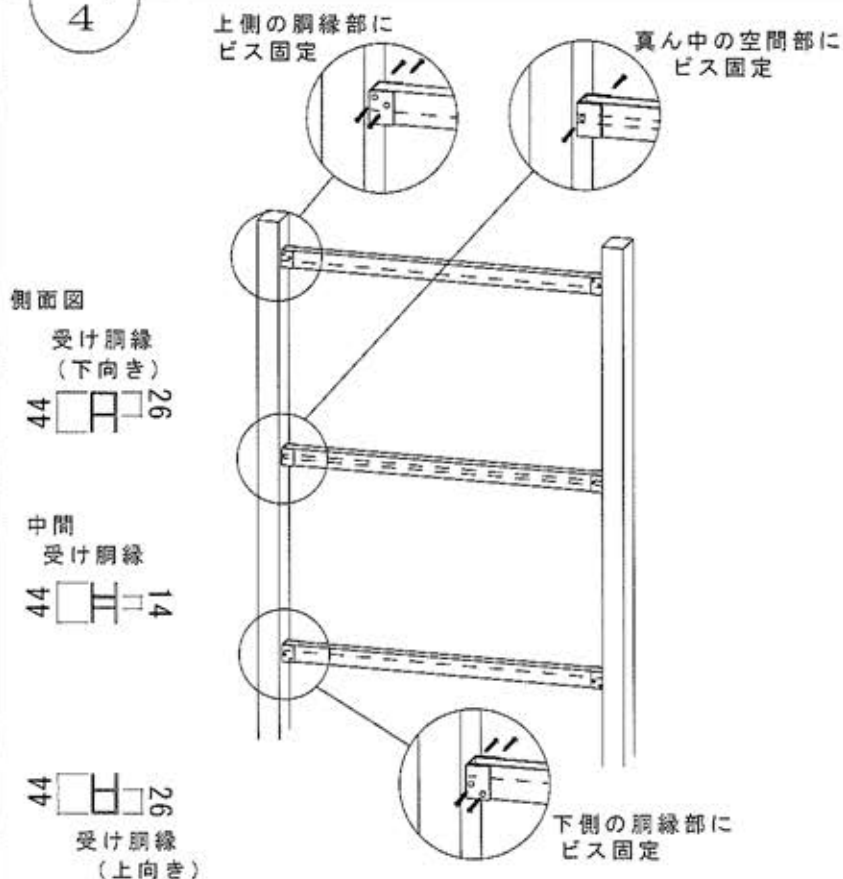
※注意※

- ・コンクリートに使用する砂に塩分を含んだ海砂等の使用は避けて下さい。アルミ合金が腐食する恐れがあります。
- ・コンクリートに速乾性添加物を入れないで下さい。アルミ合金が腐食する恐れがあります。

(上下の受け胴縁を、仮固定すると水平等の確認がしやすくなります。)

Step
4

受け胴縁(中間受け胴縁)の取り付け

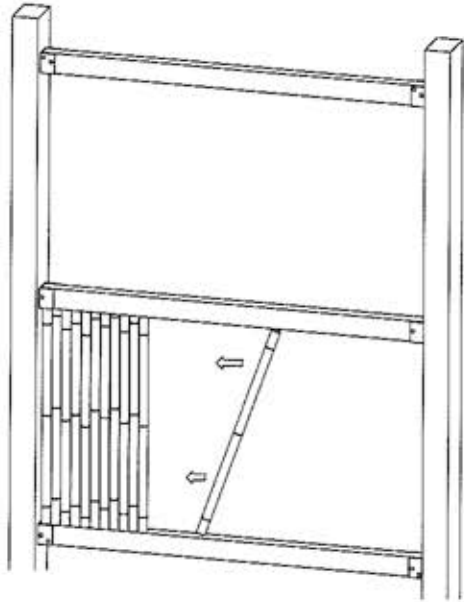


① C型ブラケットに、受け胴縁・中間受け胴縁を取付けて下さい。(4×16ビスを使用)

(丸竹の長さが短いスパンの場合 (H1500の下側など) 上側の胴縁は、仮固定としておいて下さい。)

Step
5

縦組子の流し込み作業



① 丸竹を1本ずつ流し込み
ます。

※注意※

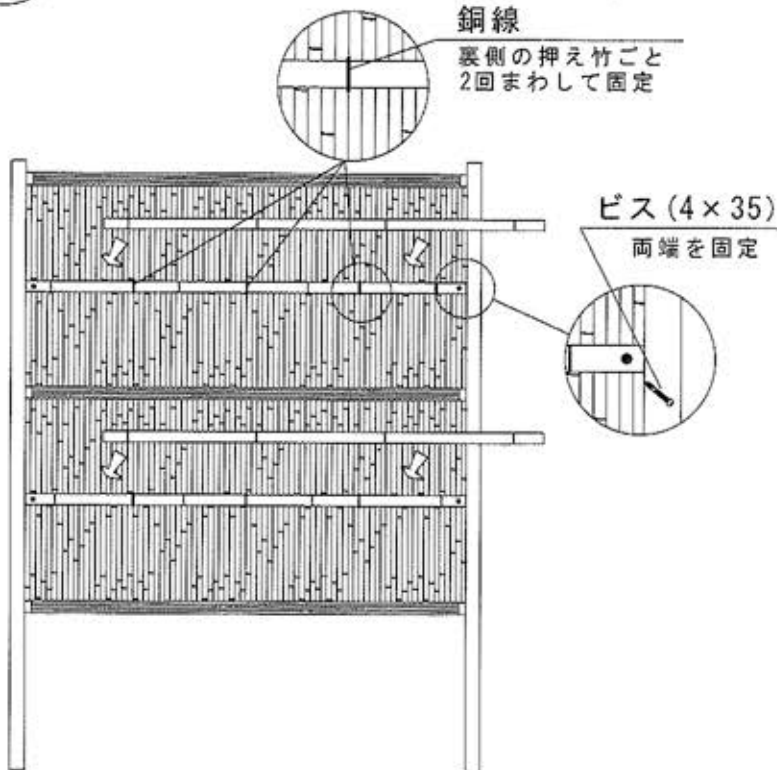
丸竹の節と節が、あまり同じ
位置に揃わないように、丸竹の
上下を入れ替えたりして、調整
すると、よりきれいな仕上がり
になります。

(片側の端から入れていき、残りが
少なくなったら、反対側の端から
先に入れて行くと、最後が入れ
やすくなります。)

Step
6

押え竹の取り付け ①

受け胴縁・中間受け胴縁のない部分



①表側の押え竹(半割50φ)
の両端を縦組子にビス
(4×35)で固定します。

②同様に裏側の押え竹の
両端もビス(4×35)で
固定します。

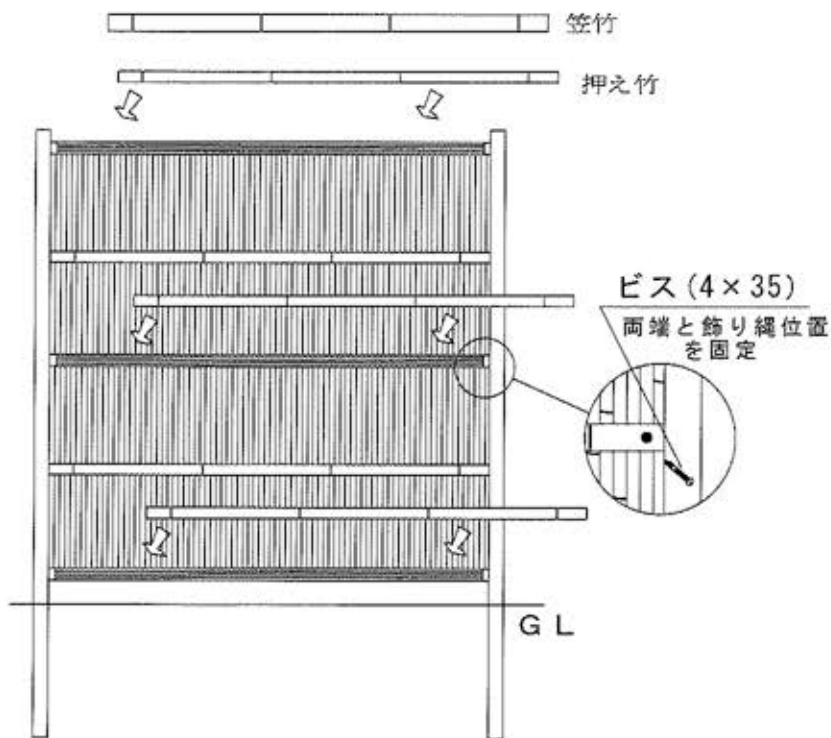
(表と裏のビスが当たらないように
ズラして取付けて下さい。)

③表面と裏面の押え竹を
銅線で固定します。
位置は、飾り縄をつける
場所です。

Step
7

押え竹・笠竹の取り付け ②

受け胴縁・中間受け胴縁のある部分



①表側の押え竹（半割50φ）の両端を受け胴縁（中間受け胴縁）に（4×35）で固定します。

②同様に裏側の押え竹の両端もビス（4×35）で固定します。

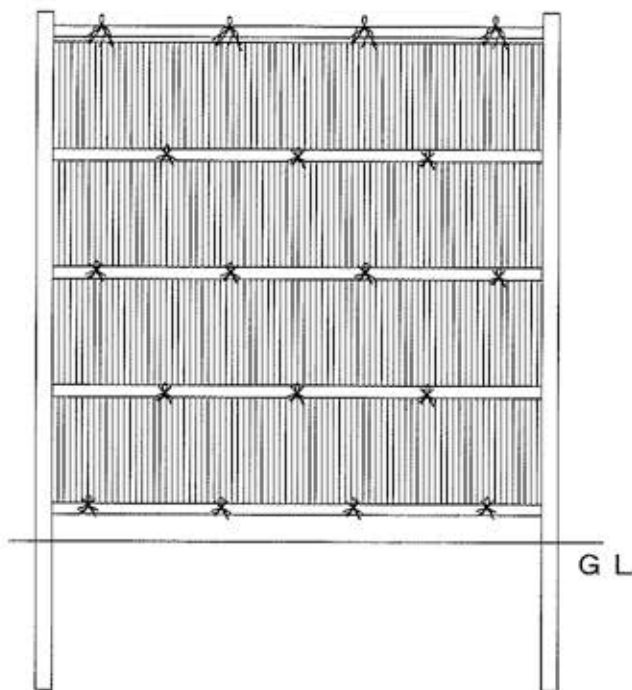
（表と裏のビスが当たらないようにズラして取付けして下さい。）

③間もビスで固定します。ビス位置は、飾り縄をつける場所です。

④笠竹（半割63φ）も同様の位置にビス固定して下さい。

Step
8

飾り縄の縄かけ



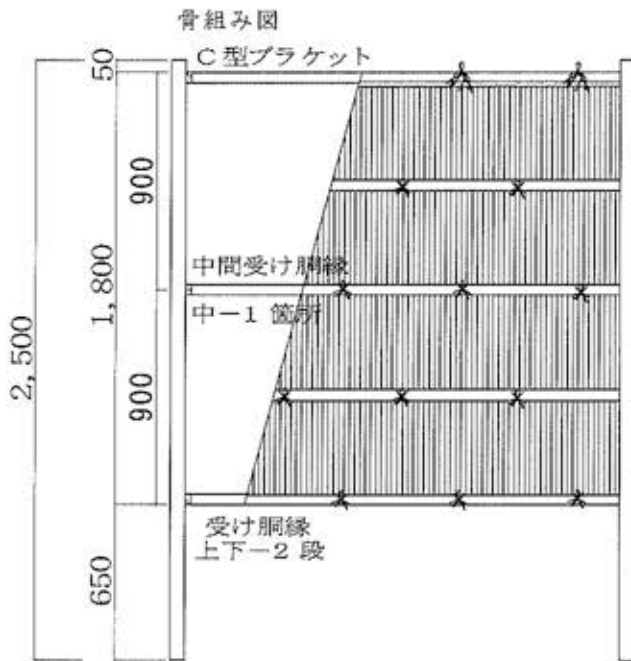
①ポリコード（人工棕櫚縄）を押え竹のビスと銅線を隠すように縄かけして下さい。

（結び方は、Step9を参考にしてください。）

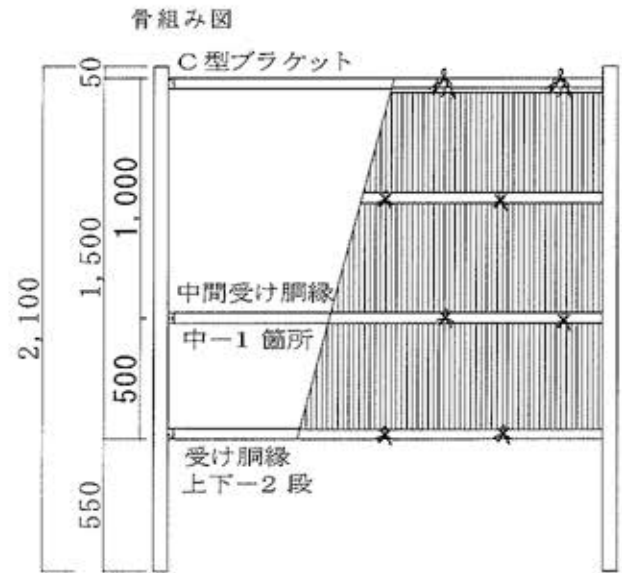
※アルミ骨組みのある部分は、縄が通しにくいので、ビスを緩めて通して下さい。

（最下段の飾り縄は、現場状況で、かけられない場合もあります。）

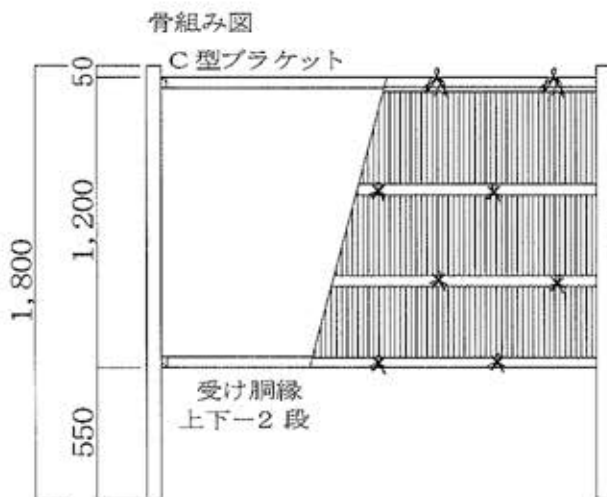
造作 H 1800mm 参考寸法図



造作 H 1500mm 参考寸法図



造作 H 1200mm 参考寸法図



造作 H 900mm 参考寸法図

